

2017年 社長年頭挨拶(要旨)

“もっと良い会社になろう！”

～愚直に、地道に、徹底的に「モノ(素材)づくり」を行い、お客様の「良いモノ(製品)づくり」に貢献～

愛知製鋼株式会社(本社:愛知県東海市、社長:藤岡高広)は、2017年1月6日(金)、当社体育館(愛知製鋼企業年金基金体育館アスカム)において「社長年頭挨拶」を行いました。

＜藤岡社長年頭挨拶 要旨＞

皆さん、新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、新たな決意と共にご挨拶させていただきます。

1.【昨年の振り返り】

昨年、当社では「1.8」事故がありました。近隣の皆様や、お客様など多くのステークホルダーの皆様にご心配・ご迷惑をおかけした「1.8」を私たちは決して忘れてはなりません。真摯に反省し、私たちの第一の使命であるお客様のモノづくりに貢献していくために、全員で確実にステップアップを実践し、信頼を回復していくことが重要です。

2.【“もっと良い会社”になろう】

当社が目指すべき“もっと良い会社”を、私は以下のように考えています。

- | |
|--|
| ①私たちの生産する素材で、お客様の「良いモノづくり」に貢献できている。 |
| ②一人ひとりが自分がやるんだという意識(“I Will”の当事者意識)でチャレンジしている。 |
| ③人がワクワク、イキイキと働けて、職場に笑顔が溢れている。 |
| ④「いつまでもこの地にあり続けて欲しい」と地域から思われている。 |

3. 2017年『きちんとした「モノづくり」ができる会社になっていく活動』

(1)「1.8」からの体質強化

以下に挙げる骨太タスクを確実に実行し、全員でステップアッププランをやり遂げましょう。

＜骨太で進める4本の柱＞

4本柱	大切なこと
①安心・安全な職場へ	安全人間(意識・技能・知識・見識・胆識)づくりと「人は間違う」ことを前提とした設備
②真の鍛鋼一貫でのモノづくり	鋼材～鍛造まで一貫で、「無駄なく」、「見える」生産ラインづくり
③「もしも」の時への備え	万が一、事故があってもお客様にご迷惑をおかけしない安定供給体制の準備
④Aichi Way	一人ひとりが、自分がやるという“I Will”の意識でのモノづくりの考え方

(2)本社と海外拠点の親/子の結束力強化と各拠点の自律化支援

親が子を正しく成長させ、自立・自律した拠点へと導いていくためには、適切な支援が不可欠です。お互いが理解・信頼し合い、思いや要望を率直に話し合っ共々に課題に取り組み、アイチグループを更に強くしていきましょう。

(3)事技スタッフの仕事力・マネージメント力向上

思い切った権限委譲でリーダーシップの発揮を助け、「リーダーが当事者意識を持ち引っ張っていける組織」、「フットワークの良い小回りの利く集団」を目指しましょう。

「仕事のやり方意識改革」のために、以下の4項目を確実にを行い、互いに日々努力して姿勢が大切です。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ①練りに練った企画でまずやってみる | ②図面・計画書で徹底的に検討する |
| ③山登りのように各ステップでの検証を大切にする | ④現地現物の確認を欠かさない |

4.【皆さんにお願いしたいこと】

「千里の道も一歩から」確実に一つひとつ仕事を積み上げていくことで、光が必ず見えてきます。愛知製鋼が世の中に届ける価値・使命である、愚直・地道・徹底的な「モノ(素材)づくり」で、お客様の「良いモノ(製品)づくり」に貢献できるよう、「I Will」の当事者意識で全社一丸となって取り組みましょう。

以上